

文書開催（第1回審議会）における審議事項 回答一覧

No.	氏名	1					2	回答
		(1)	(2)	(3)				
				①	②	③		
1	新道 龍一	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	—
2	樋口 敦	推計の精度と誤差の範囲は	納得した	納得した	納得した	納得した	—	推計の差異と誤差の範囲の一般的な基準はございません。参考までに、社人研による推計(一般的に用いられている)を確認したところ本市の国調人口は、2015年225,196人だったのに対し、同年の社人研の推計値は224,299人(平成25年3月推計)であり、897人の差異がございました。今回の基本となる推計(p.8)は社人研推計等の仮定値を用いておりますので、同程度の誤差と考えられます。
3	池田 達生							
4	長沢 純							
5	島村 典泰	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	—
6	内田 富美代	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	第2期「総合戦略」<第2期「総合戦略」の政策体系>を拝読致しました。質問しようと思っていたことが計画されていたので、実現できればと思います。
7	平野 修一							
8	竹中 健司	①国で進めている政策である東京圏への人口流入が抑制された場合についての推計がないのはなぜか。 ②P1「本市の人口の推移と国の推計」では国勢調査ベースに基づく社人研による推計を使用しているのに対し、P8からの上尾市による推計は住民基本台帳人口に基づいているが、混乱しないか。	納得した	納得した	納得した	納得した	—	①P8の基本となる推計は、社人研が公表している仮定値を用いております。社人研は国が進めているという1都3県への人口流入を反映した推計結果を公表しておりませんが、この仮定値には人口の転入・転出に係る純移動率も含まれています。 ②P8からの本市の展望人口については、できる限り最新のデータを基に推計する必要があるため、国勢調査のデータではなく、住民基本台帳人口データを使用することとしました。
9	佐藤 徹	納得した	納得した	上尾市も同様に推移すると仮定する根拠は何ですか	納得した	上尾市も同様に推移すると仮定する根拠は何ですか	—	合計特殊出生率の性質上1自治体で上げていくというよりも県及び国で一丸となって取組んで実施するものであると考え、国や県の2.07という数値を目指し上尾市でも必要な政策を投じていきたいと考えております。
10	田谷 正克							
11	関谷 真司	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	—
12	佐々木 毅彦	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	—
13	本田 直子							
14	宮内 礼子							
15	金子 一夫	納得した	納得した	納得した	納得した	納得した	—	本市の実情に応じた今後5か年の目標や今後特に注力していくべき施策の基本方向、具体的な施策をまとめた「第2期上尾市地域創生総合戦略」を策定し、実行することで人口減少の緩和を目指します。

資料1 将来人口及び将来展望推計人口についての「2.本市の将来展望人口(P8.9.10)」をお読みいただき[]内のあてはまる項目に○をして下さい。

(1) 基本となる推計(P8)

推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という)が、国の社会保障制度の中・長期計画ならびに各種施策立案の基礎資料として、人口と世帯に関する将来推計を全国と地域単位で公表している情報となります。これによると、本市の人口は、2015年の228,109人が、2045年には204,959人まで減少することが推計されます。

(2) 将来展望推計(P9)

結婚や出産はあくまで個人の自由な意思によるものであり、行政の施策によって直接的に合計特殊出生率を向上させるものとはいえませんが、本戦略の少子化対策に関する施策の展開によって、まずは市民の出産の希望が実現し、さらに国の「第2期まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(引用:参考資料1まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」)に準拠し、合計特殊出生率が2045年までに2.07(※)に回復すると仮定すると、将来展望人口として2045年の人口は219,487人になることが推計され、人口減少が緩和することが見通されます。

(3) 第1期長期ビジョンとの比較(P10)

①ここでは「将来展望推計人口」と書かせていただいておりますが、国が出生率を2.07に上げる推計を作成し、また、埼玉県も同様に人口置換水準の2.07に出生率を引き上げる推計を作成しています。上尾市も同様に推移した場合、2045年には219,487人となり、この人数を「将来展望推計人口」と定義づけます。

②「第1期」は5年前の長期ビジョンにおける推計であり、政策を打たないと2040年には195,600人になってしまうという推計となっていました。それに対して上尾市としては、定住促進事業を積極的に実施することなどにより、出生率や社会増を上げ、2040年に207,800人にするという目標を策定しました。図表はP10の表をグラフ化したものであり、赤い折れ線と、その上の緑色の折れ線が第1期のグラフとなっています。このままでも赤の線で下降していくところを引き上げて、緑の線にしていこうという目標を立ててきました。

③社人研の2040年推計人口は、5年前の推計である第一期が195,600人に対し、第二期は209,809人と上回っています。なお、第二期の「推計人口」は、第一期の「将来目指すべき人口」の207,800人を上回る結果となっています。P10の図表の紫色の点線が第二期の推計人口であり、第1期の推計対比下降線が緩やかになっています。しかしながら、これからも引き続き定住促進事業を積極的に展開することにより、青色の実線(将来展望推計人口)に持っていかれると考えております。

資料1 将来人口及び将来展望推計人口についてその他ご意見・ご感想・ご質問がありましたら御記入下さい